

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20RU
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: ICT・電子デバイス、ものづくり分野
研究開発課題名	: 環境に優しい作物収量増加を目指した窒素・炭素肥料作製用その場プラズマシステム開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 古閑 一憲(九州大学)

評価結果の総合所見

本課題は、大気中の窒素固定等による肥料生成の実現に向けたプラズマシステムの開発を目指すものである。

概ね目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。今後の取り組み次第では十分に企業との共同研究に繋がる可能性がある。

エネルギー消費量は最終的な目標レベルには至らなかったものの、処理速度は大幅に目標値をクリアした。サトウキビ畑の栽培結果から経済性が得られることが実証され、ビジネスモデル構築開始に至った。総合的に十分な成果が得られたと評価できる。スタートアップへの展開などを含めて、製品事業化、社会実装に向けての課題はあるので、今後も活動を継続して推進していただきたい。

以上